



税金の
ムダ使い追及

ここまでに やられる

品川区民オンブズマンの会

12年の歩み

も く じ

はじめに 品川区民オンブズマンの会	
12年間の歩み 会代表 佐藤龍雄	1
追求！ 政務調査費問題パート1	
税金が議員の胃袋に消えていく！	3
《私の一言》裁判とはなにか 得難い勉強をした	16
追求！ 政務調査費問題パート2	
政務調査費で日本全国旅行三昧！	17
「海外視察」ってただの観光旅行ではないの？	36
《私の一言》血税を使った海外旅行許せないのはなぜか？	47
何に使われた？ 区長交際費	48
監査をしない監査？	54
《私の一言》はじめて入る最高裁判所	60
これまでの主な活動年表	61
会ニュース	64
編集後記	68



「政務調査」がおこなわれた銀座のキャバレー



銀座のキャバレーの領収書

キャバレーの領収書があつた!

2002年春、Aから驚くべき報告が飛び込んだ。自民党の領収書にあつた1枚の領収書が「銀座のキャバレーの領収書だつた」というのである。もちろん、領収書には「キャバレー」という文字はなく、何の変哲もない会社

の名前が出ていただけである。だが、その住所は銀座のキャバレーの住所に他ならなかった。しかし、弁護士のBはこの情報を疑つ

てかかった。「まさかキャバレーで政務調査をやるはずがない」と思ったのである。こうして、Bも仕事の合間を見て実際に領収書の住所を訪ね、キャバレーの入口付近に領収書の会社名が掲示されていることを自分の目で確かめることになつた。キャバレーでの「政務調査」は紛れもない事実だつた!

六本木のクラブの領収書も

間もなく、Aは六本木のクラブの領収書も見つけ出した。店は、地下鉄の六本木駅にほど近い雑居ビルにあつた。Aは昼間にそこを

訪れたため店の内部まで確かめることはできなかった(エレベーターが店の階に止まってくれなかった)。しかし、店の場所や看板からはどう見ても女の子と遊ぶ店にしか見えなかった。そこで、今度はオンブズマンのメンバーであるCと弁護士Bが夜、店が開いている時間に店の中を「現場検証」することになった。この小さな雑居ビルにはワンフロアーに1つのテナントしか入っておらず、エレベーターを出るとそこはすでに店の内部であつた。すぐに目に飛び込んできたのは、ピンクの絨毯に応接セット。そこでは超ミニスカートの数人の女の子が数人の

も似つかない領収書ばかりがずらりと並んでいるのである。「口に入るものばかり」の領収書といつてもいい状態であつた。もちろん、会派によつて傾向に違いがあり、すべての会派がそうというわけではなかつたが、特に自民党の領収書のエンゲル係数(われわれは飲食代の領収書の比率をこう名付けた)が特に高く、彼らの領収書は飲食店の領収書で埋め尽くされているように感じられた。

区議さんにとっては飲食店の食べ歩きをすることが「政務調査」なのだろうか。庶民にとっては手が届かない「グルメ三昧」がうらやましくも思えたが、われわれ

れ区民の税金がそんなことに使われていることに茫然とせざるをえなかつた。

そこで、われわれは領収書に出てくる店をひとつひとつ訪ね歩き、政務調査費の使い道をより詳しく調べてみることにした。中心になつたのはオンブズマンのメンバーであるA。彼は1枚の領収書を手がかりにして、品川近辺はもとより都内のごくまでも愛用の自転車で出かけて行き、どんな店かを調べ写真にとつて歩いた。この地道な調査が次々に意外な事実をあぶりだすことになつた。

平成13年度政務調査費支出総額(飲食費総額)

	総支給額	会派人数	飲食費総額	議員1人あたり	エンゲル係数 (飲食費割合)
自民	29,640,000	13	9,016,963	693,613	30.17%
公明	18,240,000	8	4,100,999	512,625	22.46%
共産	18,240,000	8	368,933	46,117	2.02%
合同	13,680,000	6	141,333	23,556	1.20%
民主区民	11,400,000	5	2,472,722	494,544	21.63%
区民クラブ	4,560,000	2	0	0	0.00%
	95,760,000		16,100,950		17.10%

2001年度の政務調査費の支給額と飲食のために使用された額と割合

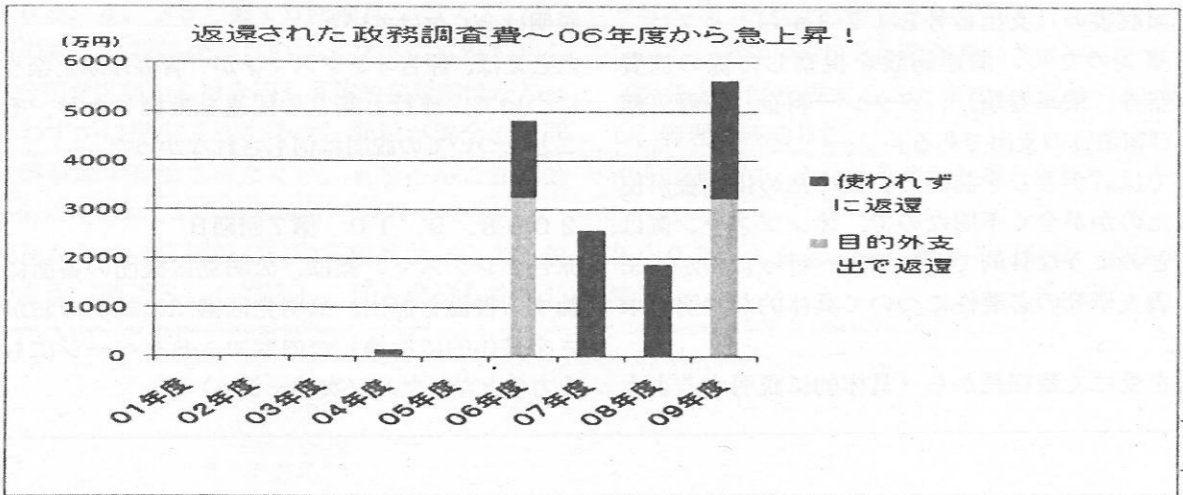
2001～09年度に各会派から返還された政務調査費の内訳と総額

不正に支出され返還された政務調査費		¥65,059,610	
(内訳)			
会派名	返還日	返還額	返還対象
自民党区議団	H16.1.13	¥313,286	バー・クラブ・ライブハウス等での遊興費 7件
	H18.11.30	¥11,278,204	すし、居酒屋、しゃぶしゃぶ、焼肉店などでの飲食費 351件
	H19.1.22	¥2,107,510	築館元幹事長による偽造領収書による架空請求分 63件
	H19.1.25	¥1,134,481	原雅美区議による家族旅行費等 29件
	H19.3.2	¥16,929,064	平成17年度までの飲食費、交通費、資料代等 831件
	H19.3.2	¥854,210	平成18年度の飲食費、交通費、資料代等 28件
小計		¥32,616,755	
公明党区議団	H19.3.2	¥14,544	ミステリー小説等の購入費 11件
	H21.9.7	¥32,206,656	平成13～17年度の私的旅行代と飲食費 1298件
	小計		¥32,221,200
品川区民連合	H19.3.2	¥221,655	政治資金パーティー費等 9件
小計		¥221,655	

注 返還額には延滞金を含む。自民党区議団には「しながわ自民党」分を含む

使用されずに年度末に返還された政務調査費	¥88,482,041 (平成13年～平成21年まで)
----------------------	-----------------------------

(内訳)	
会派名	返還額
自民党区議団	¥14,743,706
公明党区議団	¥40,894,628
共産党区議団	¥962,857
民主品川	¥25,086,430
生活者ネットワーク	¥2,164,251
無所属の会	¥377,335
無所属クラブ	¥4,252,834



今回、公明党区議団が区

オンブズマンの声を税金ムダ使いの返還へ

市民が起こす行政訴訟の背後には、同じような問題を抱えていても裁判を起すことができない多くの市民がいることに裁判官は目を向けるべきである。裁判所の出す判決は社会に大きな影響を与えるものだからこそ、市民の命や暮らしを守り、これからの社会のあり方を見据えた判決を出す責任が裁判官にはある、と思う。

に返還した金額は、3220万6656円。いったいどのようなにして、このお金を集めたのかと首を傾げたくなるくらい高額だ。実は返還金はこれだけには終わらない。この裁判が始まってから使用されずに年度末に返還された政務調査費の額も高額である。2001～09年度までの9年間に区に返還された政務調査費の総額はすでに1億5000万円を超えた。もし、オンブズマンが声をあげなければ、おそらく大部分のお金は区に返還されることはなかったであろう。最大の

成果は議員に政務調査費というお金についての考え方を変えさせたことにある。それはポケットマネーではなく、区民が苦勞して納めた貴重な税金なのである。このあたりまえのことを議員さんにわかってもらうために、かれこれ8年近い月日を要してしまった。議員の意識改革という意味ではひとつの成果を上げることができた。でも、政務調査費をめぐってはまだまだ糺すべき点は多く残されている。今後も監視の目を緩めてはいけないと思う。

